

平新報

磐中同窓總會

改制された同會規約

會計其他大要通報

○懇親會出席者

磐中同窓會計報告

(昭和九年一月—至全年八月)

磐中同窓會總會は例年の故仲里副會長が保管中紛失如く去月十日午後一時より母校に於て開催したが今期は役員の改選に當り會長關員一名は松井深氏指命され内正一氏以下兼任、辭任役員一名は松井深氏指命された、それが役員の新陳容左の如く、

會長關内正一 副會長諸橋元三郎 幹事山田盤麿(九回) 松本榮(十一回) 野崎喜八郎(十二回) 深(十二回) 上田耕作(十六回) 木村守江(十八回) 山崎忠(二十三回) 兵衛(二十三回) うち野崎には會費なしであるから今

氏常任に、山崎氏會計の衝後とも誤解なき様多數の出

務所の關係上評議員にしてある。

母校に在職の廣田德行氏が庶務會計を代行するは從前

の通りであり、會員名簿作成は新田目春松氏である。

同會は右の外、庶務、會計

會則の改定あり審議の上別項の如く制定を創たが該會

会員の委託を永遠に保つに第二條 本會は磐城中學校

各則はかつて白井會長時代

三森虎雄

磐城中學校同窓會規約

會計其他大要通報

會員の委託を永遠に保つに第二條 本會は磐城中學校

各則はかつて白井會長時代

三森虎雄

高木富士郎 石川友次郎 廣田徳行 原精一 中野眞隆 上田耕作 新田目春松 鈴木信雄 井上貞治郎 井坂久吉

山名三郎 齋藤榮一 小檜山久作 橋本芳太郎 第四條 本會は磐城中學校長を總理に推す。

第三條 本會は磐城中學校長を總理に推す。

第四條 本會は磐城中學校長を總理に推す。

第五條 本會は毎年八月十日午後一時より母校に於て

第六條 新會員は卒業の時

第七條 本會に左の役員を置く

第八條 本會員は總會員に於て

第九條 本會員は總會員に於て

第十條 本會員は總會員に於て

第十一條 本會に協議會を設

第十二條 本會に協議會を設

第十三條 會員は入學就職

第十四條 會員は入學就職

第十五條 會員は入學就職

第十六條 會員は入學就職

第十七條 會員は入學就職

第十八條 會員は入學就職

第十九條 會員は入學就職

第二十條 會員は入學就職

第二十一條 會員は入學就職

第二十二條 會員は入學就職

第二十三條 會員は入學就職

第二十四條 會員は入學就職

第二十五條 會員は入學就職

第二十六條 會員は入學就職

第二十七條 會員は入學就職

第二十八條 會員は入學就職

第二十九條 會員は入學就職

第三十條 會員は入學就職

第三十一條 會員は入學就職

第三十二條 會員は入學就職

第三十三條 會員は入學就職

第三十四條 會員は入學就職

第三十五條 會員は入學就職

第三十六條 會員は入學就職

第三十七條 會員は入學就職

第三十八條 會員は入學就職

第三十九條 會員は入學就職

第四十條 會員は入學就職

第四十一條 會員は入學就職

第四十二條 會員は入學就職

第四十三條 會員は入學就職

第四十四條 會員は入學就職

第四十五條 會員は入學就職

第四十六條 會員は入學就職

第四十七條 會員は入學就職

第四十八條 會員は入學就職

第四十九條 會員は入學就職

第五十條 會員は入學就職

第五十一條 會員は入學就職

第五十二條 會員は入學就職

第五十三條 會員は入學就職

第五十四條 會員は入學就職

第五十五條 會員は入學就職

第五十六條 會員は入學就職

第五十七條 會員は入學就職

第五十八條 會員は入學就職

第五十九條 會員は入學就職

第六十條 會員は入學就職

第六十一條 會員は入學就職

第六十二條 會員は入學就職

第六十三條 會員は入學就職

第六十四條 會員は入學就職

第六十五條 會員は入學就職

第六十六條 會員は入學就職

第六十七條 會員は入學就職

第六十八條 會員は入學就職

第六十九條 會員は入學就職

第七十條 會員は入學就職

第七十一條 會員は入學就職

第七十二條 會員は入學就職

第七十三條 會員は入學就職

第七十四條 會員は入學就職

第七十五條 會員は入學就職

第七十六條 會員は入學就職

第七十七條 會員は入學就職

第七十八條 會員は入學就職

第七十九條 會員は入學就職

第八十條 會員は入學就職

第八十一條 會員は入學就職

第八十二條 會員は入學就職

第八十三條 會員は入學就職

第八十四條 會員は入學就職

第八十五條 會員は入學就職

第八十六條 會員は入學就職

第八十七條 會員は入學就職

第八十八條 會員は入學就職

第八十九條 會員は入學就職

第九十條 會員は入學就職

第九十一條 會員は入學就職

第九十二條 會員は入學就職

第九十三條 會員は入學就職

第九十四條 會員は入學就職

第九十五條 會員は入學就職

第九十六條 會員は入學就職

第九十七條 會員は入學就職

第九十八條 會員は入學就職

第九十九條 會員は入學就職

第一百條 會員は入學就職

第一百一條 會員は入學就職

第一百二條 會員は入學就職

第一百三條 會員は入學就職

第一百四條 會員は入學就職

第一百五條 會員は入學就職

第一百六條 會員は入學就職

第一百七條 會員は入學就職

第一百八條 會員は入學就職

第一百九條 會員は入學就職

第一百二十條 會員は入學就職

第一百二十一條 會員は入學就職

第一百二十二條 會員は入學就職

第一百二十三條 會員は入學就職

第一百二十四條 會員は入學就職

第一百二十五條 會員は入學就職

第一百二十六條 會員は入學就職

第一百二十七條 會員は入學就職

第一百二十八條 會員は入學就職

第一百二十九條 會員は入學就職

第一百三十條 會員は入學就職

第一百三十一條 會員は入學就職

第一百三十二條 會員は入學就職

第一百三十三條 會員は入學就職

第一百三十四條 會員は入學就職

第一百三十五條 會員は入學就職

第一百三十六條 會員は入學就職

第一百三十七條 會員は入學就職

第一百三十八條 會員は入學就職

第一百三十九條 會員は入學就職

第一百四十條 會員は入學就職

第一百四十一條 會員は入學就職

第一百四十二條 會員は入學就職

第一百四十三條 會員は入學就職

第一百四十四條 會員は入學就職

養蠶の先進地

静岡縣をのぞいて〔二〕

農業技術木田藤次郎

福島縣石城郡養蠶試験場會長

八、大正四年六四、大正五年

農業技術木田藤次郎

福島縣石城郡養蠶試験場會長

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

完成させ其室開放

開設する候補もなく、流

論擴く婦人閑の利用にも開

以つてする候補もなく、流

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

右三候補を觀るに遠藤氏は

警察、税官出の恩給取り、

宮内氏は教育者出身のこれ

又恩給附、渡邊氏は永年平

政整理に忙殺され本紙編輯其他は安藤信義氏の援

助をうけ今日に至り來したが、農閑期とも相成り

家政整理も大略その要を得ましたので安藤氏の援

助を断り在當時に還つて自ら執筆經營の術に當

る事となりました。

乞御諒承

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數

は最も多く春蠶品種の數

を統計的に掲ぐる事

に於て此程事實習室の設

方面的改善を大に圖ること

である。

渡邊校實習室

及補習學校生徒の實習は勿べく、さりとて全員一致を

が上位に居たけれど前年か

ら掛合せが増加し、大正六年

年が最も多く春蠶品種の數